

# 農福連携の取組などによる人材の確保

【ドリームファーム株式会社（伊佐市）】

## 【ポイント】

- ねぎの生産出荷工程を細分化し、掘取りや箱詰め等の作業について、福祉施設へ委託している。
- 委託作業の内容や実際の作業の進め方等は、福祉施設の担当職員と相談しながら調整している。
- 農繁期の農福連携の取組やパートナー制度など、作業の一部を受委託することで、規模拡大に取り組んでいる。

## 【経営概要】

- 経営面積：10ha
- 主な品目：根深ねぎ10ha(伊佐ねぎ)
- 労働力：正社員3人, 女性常時雇用(パート)13人,  
福祉施設(3事業所)への作業委託
- 経営理念:「農業を通じて夢がかなえられる社会創りに貢献します」
- 経営目標:「収益性の高い「付加価値農業」の創造性に最善を尽くす」



## 【取り組むに至った経緯】

- ねぎ掘取作業の労働力が不足しており、2年前に知人のいる福祉施設へ相談したところ、施設外就労として掘取作業を委託することとなった(農福連携の取組の開始)。
- この取組をきっかけとして、他の福祉施設からも問合せがあり、現在は、3つの福祉施設へねぎ掘取作業他を委託している。

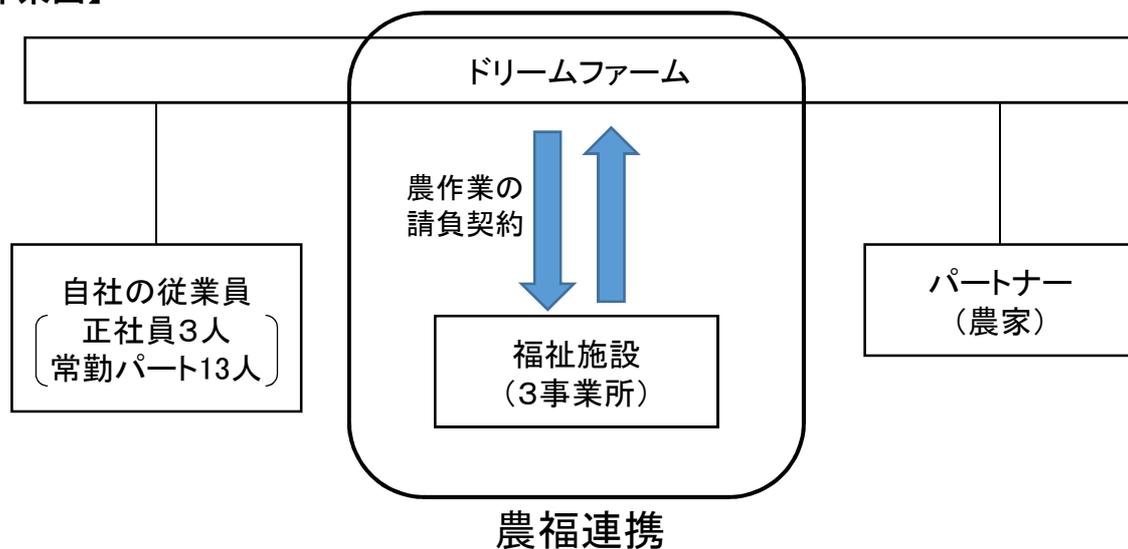
## 【成果】

- 福祉施設と連携して農福連携に取り組むことにより、人手が必要な掘取作業に係る人材を確保。
- 農繁期の農福連携の取組やパートナー制度など、作業の受委託を行うことによる規模拡大。
- 障がい者の就労機会の提供。

## 【取組内容】

- ◆ 福祉施設の職員と相談しながら、障がい者が取り組みやすい作業内容を検討して委託。
  - ねぎ掘取作業:施設外就労。施設職員が機械で根切りを行い、障がい者が抜き取ってコンテナへ集める。
  - ねぎ箱詰作業:施設内就労。施設職員がドリームファームから施設へねぎを運搬し、結束・箱詰め作業を行う。(試行中)
- ◆ 農福連携に取り組む中で、委託内容に関することについては、双方で話し合いながら調整している。
- ◆ 「パートナー制度」として、地域の農家とねぎ生産出荷の一部作業に係る受委託の契約を結んでいる。
  - 出荷作業委託:収穫後のねぎの皮むき、選別、箱詰め作業など。
  - 作業受託(契約栽培):パートナーである農家に生産してもらったねぎの収穫から出荷まで。(苗はドリームファームの提供)
- ◆ 「かごしま子育て応援企業」の認証を取得し(H29年6月)、子育て中の女性も働きやすい環境整備に取り組んでいる(時差出勤、産休の取得等)。

## 【体系図】



## 【取り組むにあたっての留意点や改善点など】

- ◆ 農福連携の取組は、農業者側と福祉施設側が、お互いに試行錯誤しながら進めることが重要。  
(こちらの要望を、施設側に丁寧に伝えていくこと)  
→当初は、作業が思う通りに進まないことや品質のばらつきなどが見られたが、施設職員と打合せを行いながら回数を重ねてもらえると、作業がスムーズになる。  
→料金の金額設定について、双方で納得できているかも重要。
- ◆ 福祉施設の職員に、農業に対する理解や作業内容への習熟を深めてもらう。
- ◆ 施設利用者(障がい者)の方々に対して、様々な配慮が必要である。  
→ほ場での作業環境が整っているか(お手洗いの確保等)。  
→作業をすることにより、疲れなどから施設利用者が欠勤に至っていないか。
- ◆ 施設利用者の方々には作業を通して「生きがい」や「やりがい」を感じていただいているか、また、自立につながっているかを確認する。
- ◆ 販売先にも、農福連携の取組について、理解と協力を求めていく。
- ◆ 農福連携の取組は行っているが、まだ障がい者の雇用までは至っていない。将来的には、障害者雇用促進法に対応して障がい者雇用を目指している。